



シラバス参照

タイトル「2016年度 経済学部シラバス」、フォルダ「2016年度 経済学部シラバス」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	経営学総論 I		
担当教員	高岡 伸行		
対象学年		クラス	E1
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	水 4	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	標準履修年次 1・2年次		
科目名 (英語表記)	Management Studies I		
授業の概要・ねらい	経済学部生として教養的に知っておくべき、かつ経営関連の専門科目の理解を促す基礎となる、汎用性のある経営学の基本的知見とそれらに関連づける枠組みの提供		
授業計画	* 講義内容の順番は進捗状況に応じて適宜入れ替える場合がある。		
	回	内容	
	1	イントロダクション	
	2	制度論の視点からの企業観, 経営学の知見1:会社という概念	
	3	制度論の視点からの企業観, 経営学の知見2:株式会社制度の設計思想	
	4	制度論の視点からの企業観, 経営学の知見3:株式会社の経営機構と企業統治	
	5	制度論の視点からの企業観, 経営学の知見4:株式会社の社会的役割と責任	
	6	組織/戦略論の視点からの企業観, 経営学の知見1:経営目的の設定と戦略	
	7	組織/戦略論の視点からの企業観, 経営学の知見2:市場戦略と競争	
	8	組織/戦略論の視点からの企業観, 経営学の知見3:戦略と組織構造の選択	
	9	組織/戦略論の視点からの企業観, 経営学の知見4:組織変革のマネジメント	
	10	予備日:視聴覚教材使用もしくは講義の進捗具合の調整	
	11	管理論の視点からの企業観, 経営学の知見1:戦略的マネジメントの思考	
	12	管理論の視点からの企業観, 経営学の知見2:伝統的管理論の思考	
	13	管理論の視点からの企業観, 経営学の知見3:システムと標準化	
	14	管理論の視点からの企業観, 経営学の知見4:管理対象としてのヒト	
15	まとめ		
到達目標	経営学の体系的学習に寄与する枠組みや考え方の特徴の理解を提供する。		
成績評価の方法	定期試験および講義中に出題した提出物の出来などを総合して評価する。		
教科書	とくに使用しない。適宜資料は指定する。配付資料は板書と同様の性質のものなので、該当日以外には配付はしない。		
参考書・参考文献	手塚公登・小山明宏・上田泰編著『経営学再入門』同友館、小田章編著『経営学への旅立ち』八千代出版		
履修上の注意・メッセージ	企業、経営現象に関する現実や事実をしらなければ、経営学を学ぶ意義もなければ、理解度も低くなります。必ず現実の企業現象、経営現象を各自でフォローして下さい。ネット情報よりも新聞、経済ニュースを読む、見るくせを必ずつけて下さい。そして講義中の諸注意をしっかりきくこと。		

履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	経営学総論II, 競争戦略論, 企業戦略論, マーケティング論, コーポレートガバナンス論, 経営管理論, 経営組織論
授業時間外学習についての指示	毎日必ず経済新聞（日本経済新聞もしくはサイケイビジネスアイなど）、経済ニュースをフォローしておくこと。予習として国内外の企業現象に関する事例をフォローすること、復習としては、講義で学習した知見と現実の企業現象との関連づけを行うこと。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.